

こどもの生活アンケート調査結果【概要】

【保護者へのアンケート調査概要】

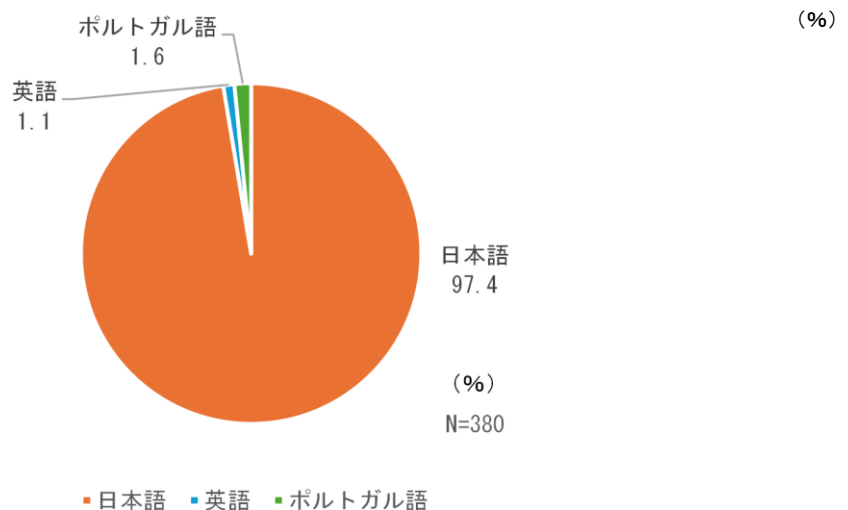
菊川市における切れ目のない子ども・子育て支援施策の推進を図るため、「菊川市子ども計画」の策定にあたって、こども及び保護者の生活実態や支援制度利用状況等を把握し、こどもの貧困に関する支援制度について計画の策定に反映させるため、アンケートを実施した。

調査の内容

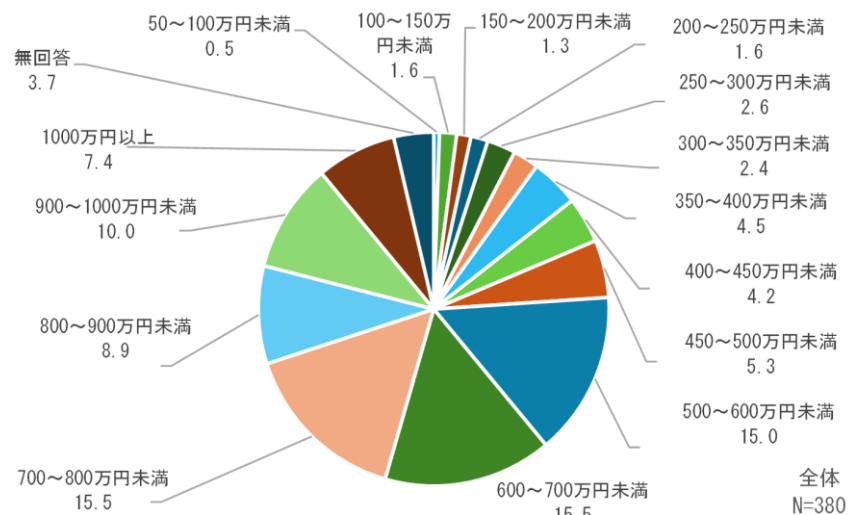
調査対象	小学校5年生と中学2年生の保護者全員（児童・生徒総数 835 名）
調査機関	令和5年6月26日～令和5年7月14日
全体回答	382 件（45.5%）
貧困世帯と 非貧困世帯の区分	国や近隣市町の調査を準用して、年間収入が 400 万円以下（全体の 下位層 15%）を貧困世帯とし、その他を非貧困世帯と区分。 貧困世帯 55 件 非貧困世帯 311 件

1. 回答言語

日本語が 97.5%、英語が 1.1%、ポルトガル語が 1.6%となっています。

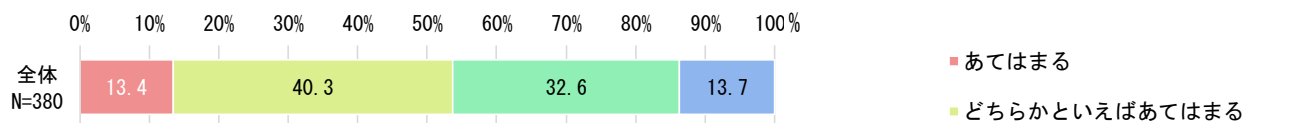


2. 世帯年収（問 26）

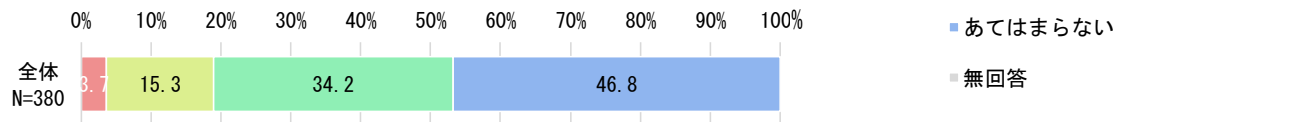


3. こどもに関する悩みごと（問3）

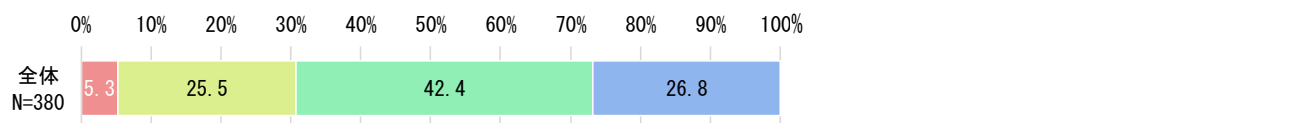
（1）しつけや教育に自信がもてない



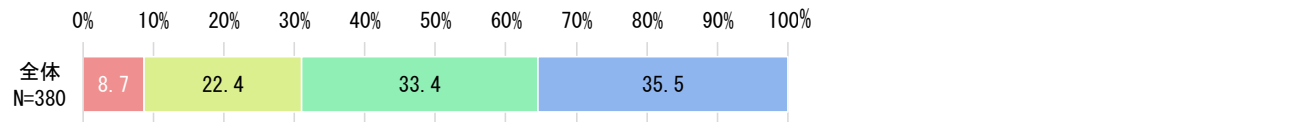
（2）しつけや教育について、相談する相手がいない



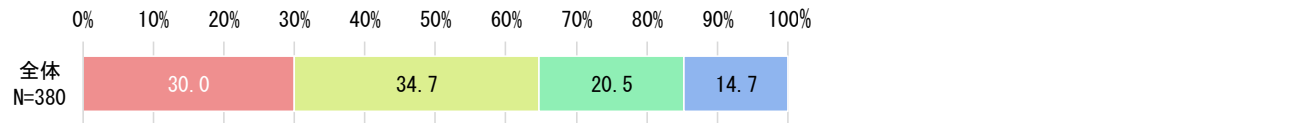
（3）基本的な生活習慣（あいさつ・規則正しい食生活・整理整頓等）が身につけていない



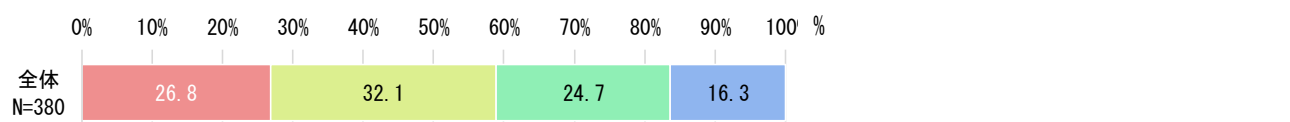
（4）こどもが勉強しない



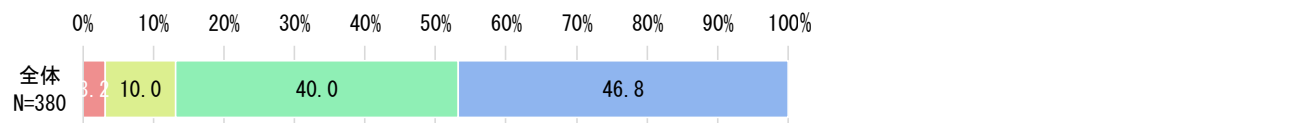
（5）進学や受験のことが心配



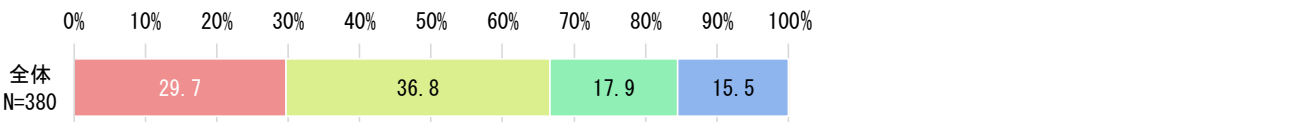
（6）こどもの就職のことが心配



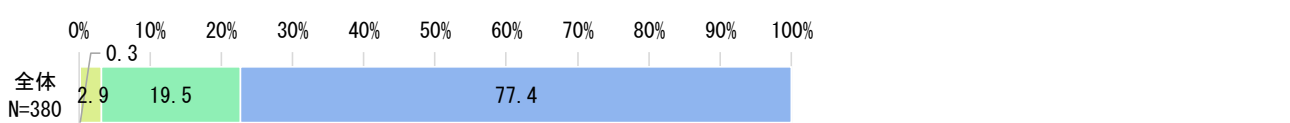
（7）こどもが良い友人関係を持ってない



（8）教育費のことが心配

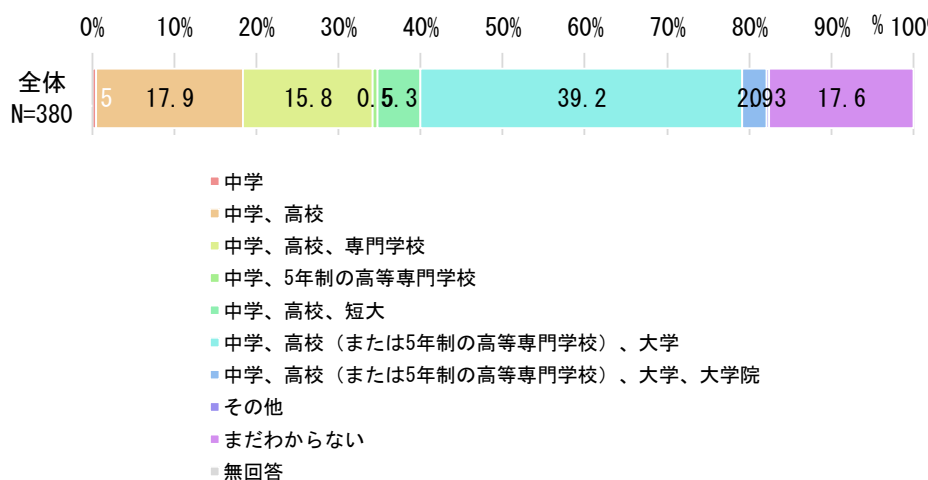


（9）こどもに十分な食事や衣服を与えることができていない



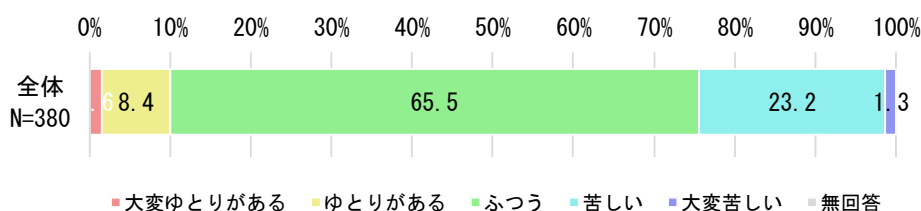
4. こどもの進学の見込み（問5）

大学まで進学する見込みが 39.2%で最も多く、高校までが 17.9%、高校卒業後、専門学校までが 15.8%と続いています。



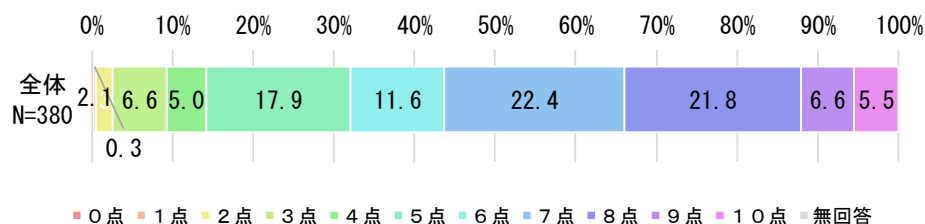
5. 現在の暮らしの状況について（問9）

暮らしの状況について、65.5%がふつうと回答しています。苦しいが 23.2%、大変苦しいが 1.3%となっています。



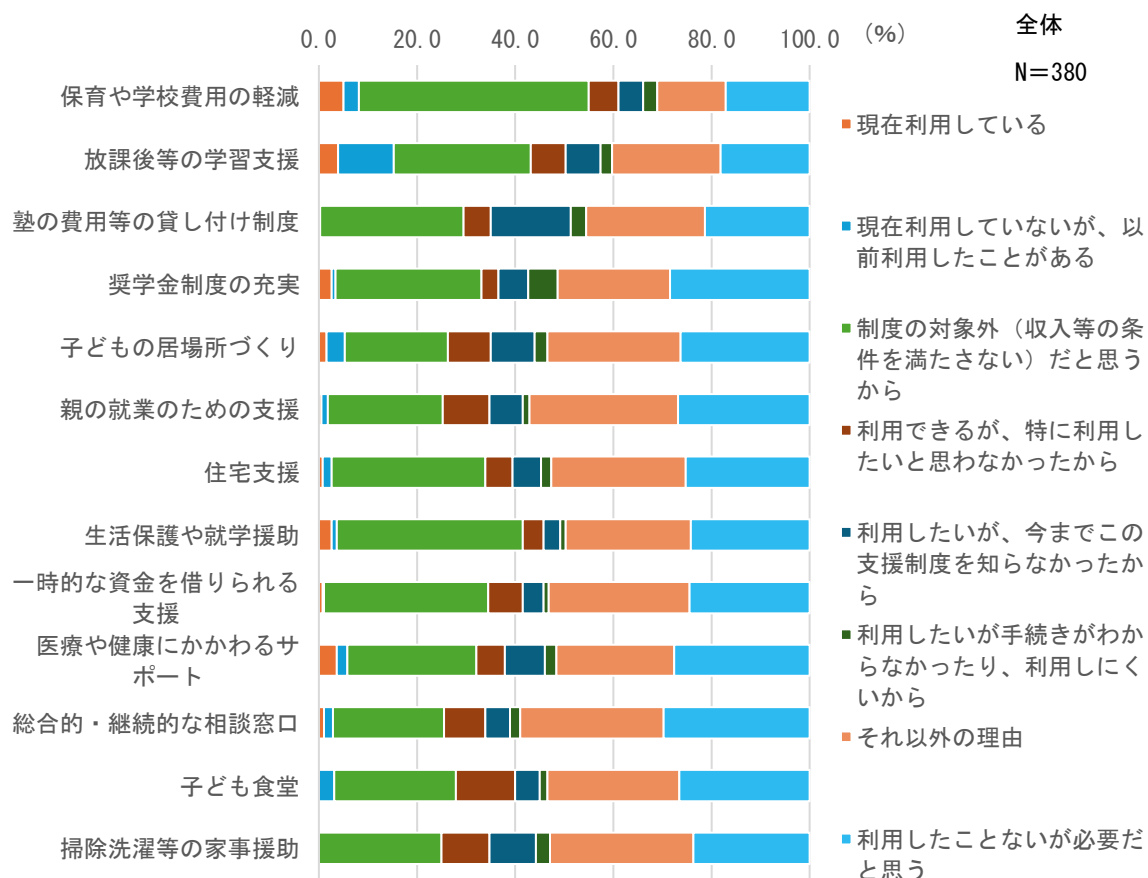
6. 現在の暮らしの状況について（満足度の11段階評価）（問12）

0点から10点で暮らしの満足度についてお聞きしたところ、6点から7点の評価が多くなっています。満足度が8以上は、33.9%となっています。※0点と1点がそれぞれ0.3%



7. 支援制度の利用状況（問13）

制度を利用していない割合が高く、その理由としては、制度の対象外と考えている人が多いことがうかがえます。



<詳細>

	利用	非利用→							(%)
	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用できるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	利用したことないが必要だと思う	
保育や学校費用の軽減	5.0	3.2	46.8	6.1	5.0	2.9	13.9	17.1	
放課後等の学習支援	3.9	11.3	27.9	7.1	7.1	2.4	22.1	18.2	
塾の費用等の貸し付け制度	0.3	0.0	29.2	5.5	16.3	3.2	24.2	21.3	
奨学金制度の充実	2.6	0.8	29.7	3.4	6.1	6.1	22.9	28.4	
子どもの居場所づくり	1.6	3.7	21.1	8.7	8.9	2.6	27.1	26.3	
親の就業のための支援	0.5	1.3	23.4	9.5	6.8	1.3	30.3	26.8	
住宅支援	0.8	1.8	31.3	5.5	5.8	2.1	27.4	25.3	
生活保護や就学援助	2.6	1.1	37.9	4.2	3.4	1.1	25.5	24.2	
一時的な資金を借りられる支援	0.8	0.3	33.4	7.1	4.2	1.1	28.7	24.5	
医療や健康にかかわるサポート	3.7	2.1	26.3	5.8	8.2	2.4	23.9	27.6	
総合的・継続的な相談窓口	1.1	1.8	22.6	8.4	5.0	2.1	29.2	29.7	
子ども食堂	0.0	3.2	24.7	12.1	5.0	1.6	26.8	26.6	

8. 貧困世帯の状況

<保護者の調査結果> ※貧困世帯回答数は55件のため、数値は参考値とする。

- ・貧困世帯の父親の正社員や正規職員の割合は4割であり、生活が苦しい状況になっている。
- ・貧困世帯の保護者のうち7割が、収入や教育費の経済的な悩みを抱えている。
- ・貧困世帯のこどもの半数は基本的な生活習慣が身についておらず、こどもの友人関係や発育や病気の悩みや心配がある割合が高い。
- ・貧困世帯の保護者のうち4割が、奨学金や住宅支援、家事援助の支援サービスが必要と思っている。

調査項目 (※2：どちらかといえばあてはまるを含む)		回答内容	回答割合(%)	
			貧困世帯	非貧困世帯
世帯構成	使用言語	日本語以外を使用(併用含む)	21.8	2.9
	保護者の就労形態(正社員・正規職員・会社役員)	母親	27.3	37.3
		父親	41.8	91.0
生活状況	現在の暮らしの状況	苦しい又は大変苦しい	40.0	21.9
	食料(嗜好品含まない)	少しでも買えない時があった	41.8	14.8
	電気・ガス・水道の料金	少しでも未払い時があった	27.3	3.5
悩みごとや困りごとについて	こどもに関する悩みがある※2	基本的な生活習慣(あいさつ・規則正しい生活)が身についていない	50.9	26.7
		こどもの良い友人関係が持てていない	21.8	11.2
		こどもの身体の発育や病気が心配である	38.2	19.3
	こどもの進学	高校卒業後に進学を希望する	50.9	66.3
	こどもの進学先の理由	家庭の経済的な状況	4.3	5.1
		一般的な進路だと思う	40.4	29.6
	経済的な悩みがある※2	収入・家計・借金等	72.7	49.5
		教育費	78.1	65.3
	生活や暮らしについて悩みがある※2	家事	56.3	34.4
		住まいや生活環境(公害、安全及び交通事情を含む)	41.8	20.9
支援ニーズ	利用したことはないが必要だと思う	放課後の学習支援	20.0	17.7
		塾の費用等の貸し付け制度	29.1	19.9
		奨学金制度の充実	38.2	26.0
		こどもの居場所づくり	23.8	40.0
		住宅支援	38.2	23.2
		掃除洗濯等の家事援助	38.2	21.2

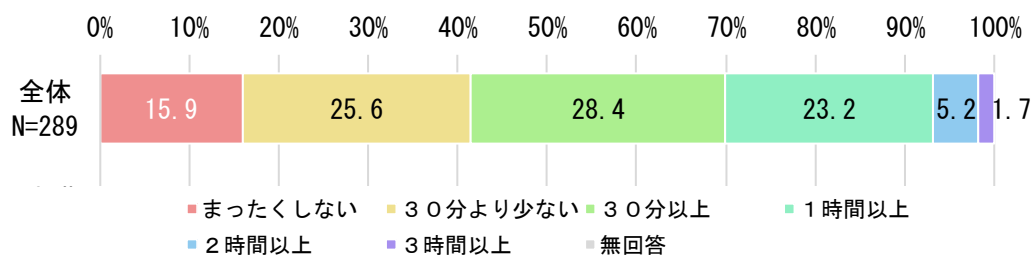
【こどもへのアンケート調査アンケート概要】

調査の内容

調査対象	小学校5年生と中学2年生の児童・生徒 835 名
調査機関	令和5年6月26日～令和5年7月14日
全体回答	こども 289 件 (34.6%)
貧困世帯と 非貧困世帯の区分	国や近隣市町の調査を準用して、年間収入が 400 万円以下（全体の下位層 15%）を貧困世帯とし、その他を非貧困世帯と区分。 貧困世帯 37 件、非貧困世帯 207 件、

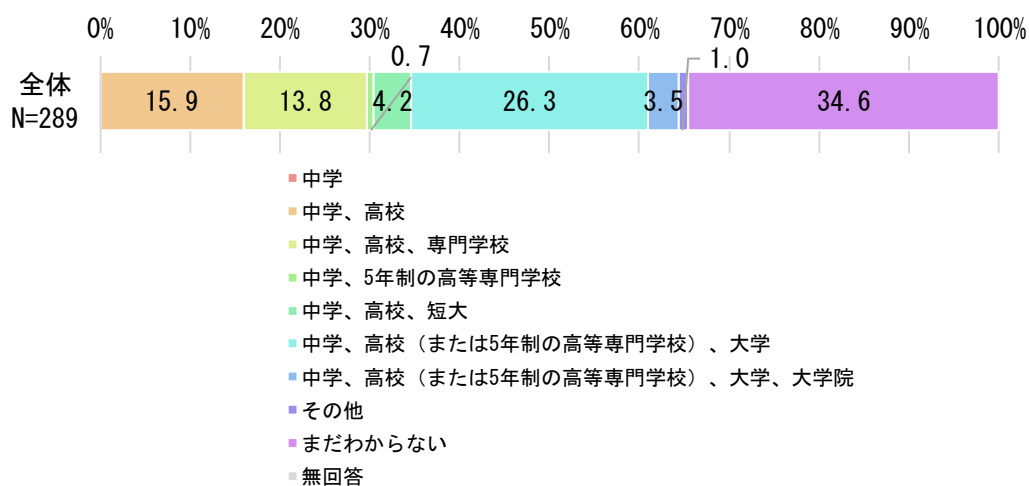
1. 土日の勉強時間（問3）

土日の勉強時間は、1時間以内の割合が約7割となっています。



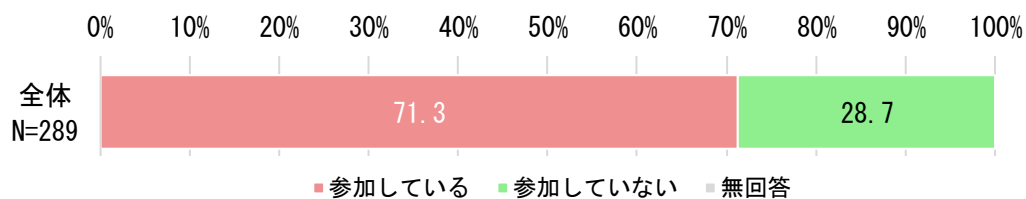
2. こども自身の進学希望（問5）

高校卒業後、専門学校や高等専門学校、大学等進学を希望している割合は、5割となっています。中学卒業後の就職希望はありません。まだわからないが3割となっています。



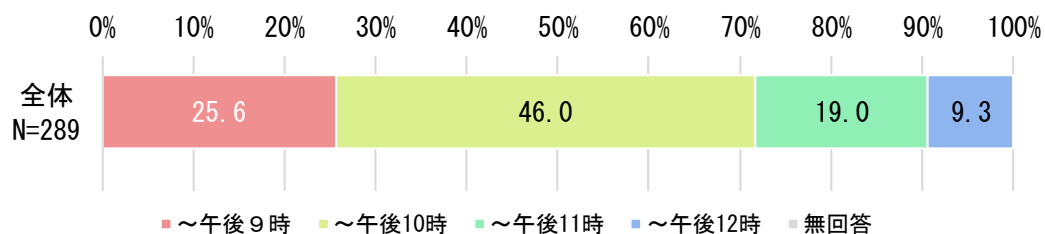
3. 地域のクラブや学校部活（問7）

クラブや部活動をおこなっている割合が7割となっています。



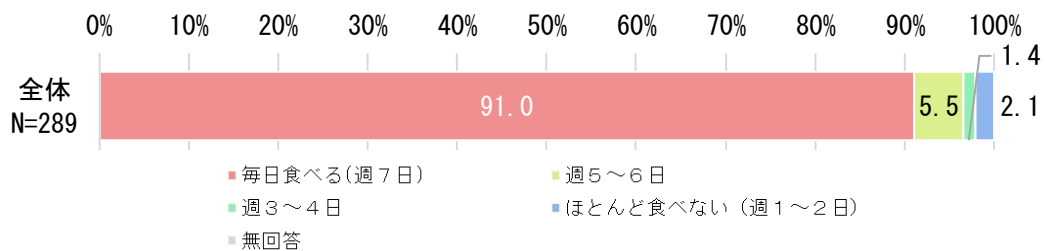
4. 朝食の状況（問9）

朝食を毎日食べる割合が、9割となっています。ほとんど食べないが1.4%となっています。



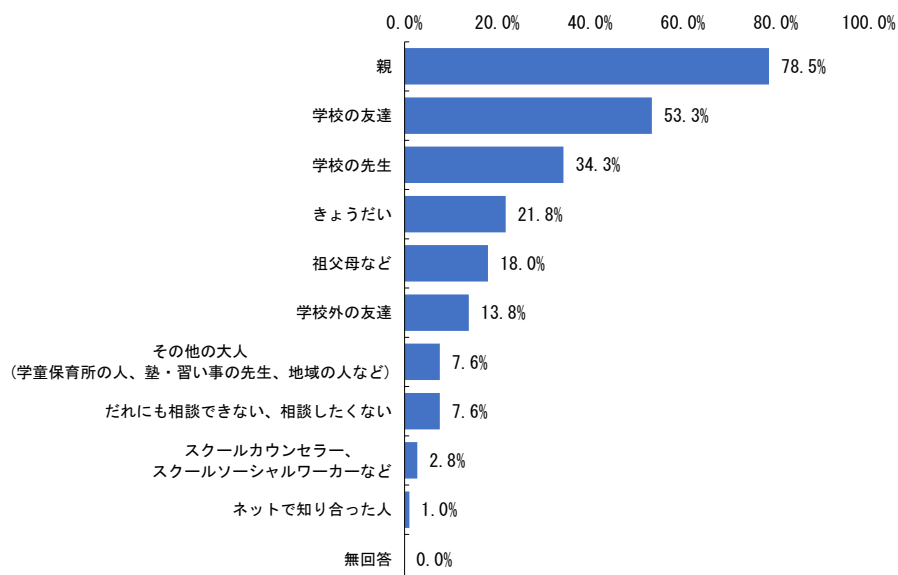
5. 就寝時間（問10）

午後10時までに就寝する割合は、7割となっています。午後11時までには、9割が就寝しています。



6. 相談相手の有無（問 11）

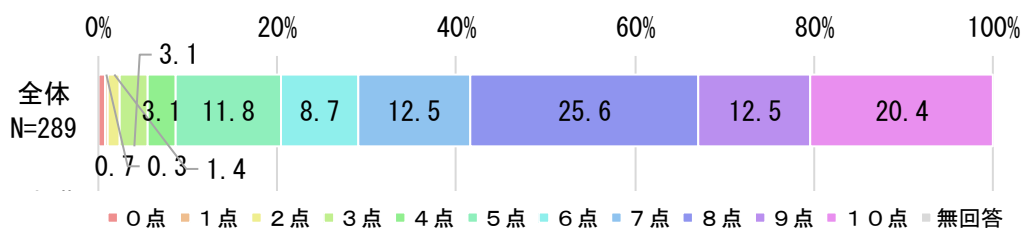
相談する相手としては、親が最も多く78.5%、次いで学校の友達、53.3%、学校の先生 34.4%となっています。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどが 2.8%、誰にも相談できないが 7.6%となっています。



【N=289】

7. 生活の満足度（問 12）

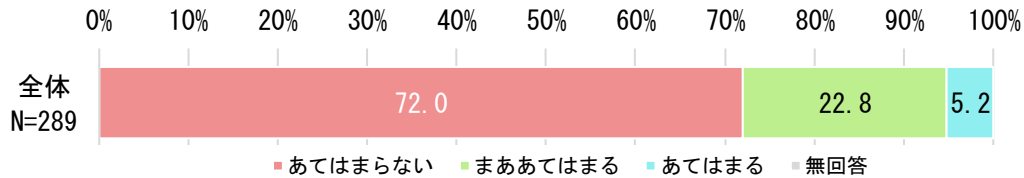
満足度8点以上の割合は、6割程度となっています。満足度が2点以下の割合は、2.4%となっています。



8. 人間関係（問 13）

【たいてい一人でいる。大体いつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける】

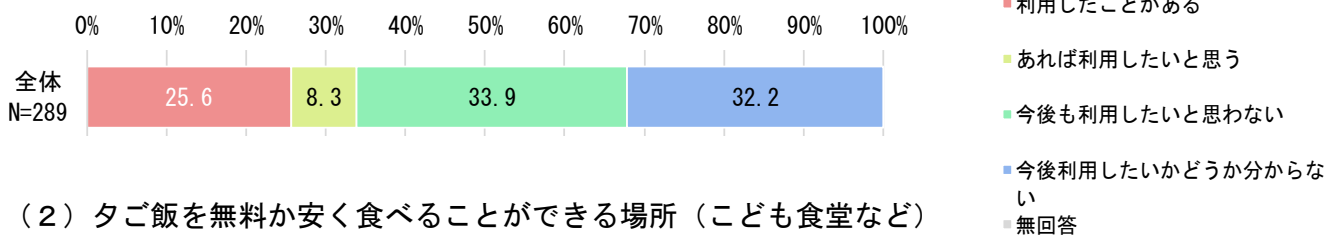
あてはまらない割合は、7 割となっています。まああてはまるとあてはまるを合わせて、あてはまる割合は、28.0%となっています。



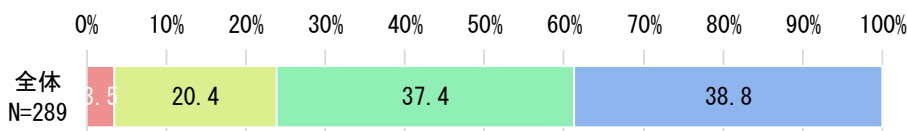
9. 行政サービスについて（問 14）

子どもや若者を対象にした行政サービスについて利用状況、利用意向は以下の通りです。

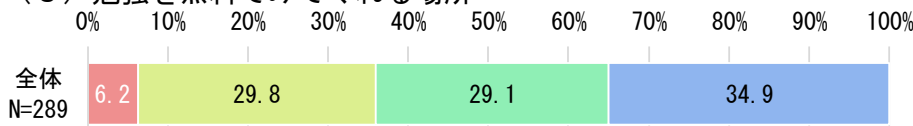
（1）平日の夜や休日を過ごすことができる場所（学童保育など）



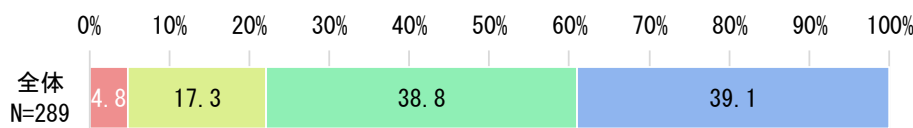
（2）夕ご飯を無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）



（3）勉強を無料でみてくれる場所



（4）何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む）



10. 貧困世帯の状況

＜こどもの調査結果＞※貧困世帯回答数は 37 件のため、数値は参考値とする。

- ・貧困世帯のこどもは土日祝日に1時間以上勉強している割合が低く、高校卒業後に進学を希望する割合が少ない。
- ・貧困世帯のこどものうち、5人に1人が朝食を毎日食べていない。
- ・貧困世帯のこどもは生活の満足度が低く、一人での割合が多い。

調査項目 (※ 1 : 複数回答の設問)		回答内容	回答割合 (%)	
			貧困世帯	非貧困世帯
学校・勉強	土日祝日の勉強時間	1 時間以上	16.2	35.8
	こども自身の進学希望	高校卒業後に進学を希望する	35.1	50.3
	地域のクラブや学校部活	参加している	62.2	71.5
生活	朝食	毎日食べる	78.4	94.2
	就寝時間	午後 10 時まで	72.9	71.1
性格・行動	生活の満足度 (0～10)	8 以上 (満足度が高い)	44.4	61.0
	こども自身の人間関係について	たいてい一人での、人と付き合うことを避ける	18.9	3.4
相談	相談相手の有無※ 1	家族 (親や兄弟等)	46.8	49.4
		相談相手がいらない、相談したくない	5.1	3.8
支援	利用したことがある又は利用したい支援サービス	勉強を無料でみてくれる場所	43.2	34.3
		ごはんを無料又は安く食べることができる場所	29.7	22.3